

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針	・第四次総合計画第 2 期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理するとともに、計画策定当初に想定されていなかった事案についても、市民サービスへの影響等を勘案しながら都度適切に対応し、総合的かつ効果的な行政経営を行います。さらに、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業を着実に進め人口減少対策に取り組みます。 ・歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報の発信を強化します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。 ・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます。 ・湖北台地区公共施設の第 2 期整備について、令和 8 年度以降の跡地の活用などに向けた検討を進めます。 ・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有しながら、施設のあり方について引き続き検討していきます。 ・成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組みます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体 6 市町と J R 東日本と連携しながら進めていきます。 ・市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用など広域行政を一層推進します。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 ・連携協定を結んでいる大学や企業と連携し、相互連携の取り組みを充実していきます。 ・平和事業を市民の協力と参加のもとに戦後 8 0 周年の節目の年として平和事業を拡大実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 ・国際交流・多文化共生を推進するため、引き続き、国際交流協会（A I R A）と連携し、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会を提供するとともに、在住外国人が安心して生活できるよう支援していきます。 ・行政施策の情報を広報あびこやホームページだけでなく、新聞、テレビ、ラジオ、S N S、アプリ等のさまざまな媒体を積極的に活用し、迅速かつ的確に提供していきます。 ・市民ニーズを市政への手紙やメール、市政ふれあい懇談会などを通じて把握し、関係部局等との調整を図りながら市政に反映していきます。 ・若い世代の移住・定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。 ・令和 7 年 7 月 1 日に迎える市制施行 5 5 周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市政功労者表彰を行うほか、様々な記念事業を実施します。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・情報公開制度に対応する文書管理として、ファイリングシステムにおける維持管理を徹底し、行政情報資料室等において市政に関する情報を適切に公開します。・多様な採用方法や募集方法を検討し、優れた人材の確保に努めるとともに、職員研修の実施、人事評価や多面評価の活用、職員派遣や人事交流を進めることにより、人材育成を図ります。さらに社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、継続して組織体制を見直し、柔軟で機能的な組織としていきます。・働き方改革を推進し、柔軟な働き方に対応する多様な勤務体制を検討するとともに、在宅勤務などテレワークの継続・活用を図ります。・事務処理誤りの発生を防止するため、作成した対応策（リスク評価及びリスク対応策）を継続するとともに、対応策に対する評価を行い、職員一人ひとりのリスクマネジメントの取り組みを推進していきます。・行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。・事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行うとともに、市民サービスの利便性向上や業務効率化に取り組みます。・行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を推進するとともに、行政事務の効率化をこれまで以上に図るため、生成AIの活用促進に努めます。また、マイナンバーカードの活用拡大に取り組みます。・住民記録や税業務等の基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ今年度末までに移行します。・DXを推進するため、全庁的なDXに対する基礎的な共通理解の形成、実践意識の醸成を図り、人材育成に努めます。 |
|--|--|

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針 に対する総合 評価	・第四次総合計画第２期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理するとともに、第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策や事業の進行管理を適正に行いました。 ・ふるさと納税では、魅力ある返礼品の拡充や情報の発信の強化に努め、前年度を大きく上回る寄附金の受け入れを達成することができました。 ・行政改革では、行政改革推進委員会により第５次行政改革推進プランの進行管理を行うとともに、行政事業点検を実施し、事業の改善を進めました。 ・鉄道の利便性向上では、成田線の増発や接続改善、常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車などについてＪＲ東日本に対し要望を行いました。また、成田線沿線の活性化に向け、沿線自治体で構成する「成田線活性化推進協議会」において、駅からハイキングの実施や B.B. BASE の誘致などを行い、各市町の魅力を市内外に発信したほか、令和８年が成田線(我孫子～成田間)の開業１２５周年にあたることから、記念事業の検討を行いました。 ・手賀沼・手賀川を活かした交流人口の拡大を図る取組では、千葉県と連携し地域づくり推進事業を活用し、農産物を活用した地産地消メニューの開発や新たなブランド「手賀さんち」の認証制度を開始しました。 ・連携協定を結んでいる中央学院大学と協力し、昨年に引き続き２回目となる学生による施策提案に取り組みました。 ・平和の大切さを市民とともに考えるため、市民の協力と参加のもと「平和の集い」や「リレー講座」などを実施したほか、中学生派遣事業では、広島市への派遣を行いました。また、戦後８０年を迎えたことから、平和のうたの制作や被爆体験伝承講話などの記念事業を実施しました。 ・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（ＡＩＲＡ）と連携し、外国人相談窓口の設置や国際交流まつりなどのイベントを実施するなど、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会を提供しました。また、やさしい日本語によるマナー啓発パンフレットの作成や市内日本人学校での講話会の実施など、在住外国人が安心して生活できるよう支援を行いました。 ・行政情報の発信及び市民ニーズを把握する事業では、広報の多言語対応やＳＮＳの活用、市政ふれあい懇談会の開催など、必要な見直しを行いながら推進しました。 ・魅力発信事業では、転入者のさらなる増加を図るため、従来のプロモーション施策に加え、市内東部地区への移住促進施策にも取り組みました。

- ・市制施行５５周年記念事業では、記念式典を開催し、市民文化スポーツ栄誉章の贈呈、市政功労者の表彰を行ったほか、１年間を通して様々な記念事業を実施しました。特に１２月には、市制施行５５周年のフィナーレイベントとして『手賀沼ランタンＸｍａｓフェスティバル』を開催し、多くの市民とともに市制施行５５周年を祝うことができました。
- ・職員採用試験について、有資格（免許）者・経験者枠及び公務員経験者枠を新設し、即戦力となる人材の確保に向けた取組を推進しました。
- ・人事評価制度を中心とする人事管理を行うとともに、各種研修や国、県等との人事交流を通じ、職員の人材育成に努めました。
- ・男性職員の育児休業の取得促進に向けた取組を推進するなど、職員のワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努め、やむを得ず長時間労働を行った職員に対しては、産業医による面接指導を実施し、職員の健康維持に努めました。
- ・職員の時間外勤務の常態化を解消することで、経費の削減や職員の働き方改革の推進等を図るため、令和８年１月５日より市役所本庁舎・分館・東別館、各行政サービスセンターの窓口において、窓口開庁時間短縮の試行運用を開始しました。実施に向けて市民をはじめサービスを利用する方々への周知の徹底に努めました。
- ・情報公開制度に対応するため、適正な文書管理に努めるとともに、市政情報を適切に公開しました。
- ・第四次総合計画を効果的に推進するため、こども家庭センターを設置するなど、令和８年度の組織体制を構築しました。
- ・行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を着実に推進し、生成ＡＩの活用促進によって行政事務の効率化をこれまで以上に実現しました。また、住民記録や税業務などの基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ無事に移行させ、行政の基盤となる重要なシステムの標準化を実現しました。これにより、今後の安定的かつ柔軟な行政サービスの提供につながります。さらに、全庁的なＤＸに対する基礎的な共通理解の形成や実践意識の醸成に加え、人材育成にも注力し、組織全体のデジタル化推進体制を着実に強化しました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：企画政策課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・基本構想・基本計画・実施計画に基づき、総合的・計画的な行政運営を推進するため、実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業を着実に進め、人口減少対策に取り組みます。

・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます。

・第5次行政改革推進プランに基づき、行政改革推進委員会での意見を踏まえながら、民間活力の導入やBPRを推進し、行政の効率化を図ります。

・「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、引き続き事業の進行管理をしていくとともに、第2期整備に向けた検討を進めます。

・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。

・ふるさと納税による寄附額の増加に向け、様々なツールを活用してPRを効果的に行うとともに、魅力的な返礼品の充実を図ります。

・常磐線市内各駅へのホームドアの整備や成田線の増発など、鉄道の利便性の向上に努めます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体6市町とJR東日本と連携しながら進めていきます。

・市民サービスの向上や効率性・効果的な行政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用など広域行政を一層進めます。東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、柏市・流山市と連携しながら、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。

・協定を締結している大学や企業と相互連携の取り組みを充実していきます。

・平和の大切さについて引き続き市民とともに考えます。また、令和7年は戦後80年の節目の年であるため、市民会議を拡大し、記念事業を実施します。

・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（AIRA）と連携し、在住外国人が安心して生活できるよう引き続き支援していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の取組全体としては、特に大きな支障はなく、概ね当初の目標どおり実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

細かな遅延等はあるものの、所管する全事務事業において「順調」または「ほぼ順調」と評価しており、全体を通して適切に業務を実施できているものと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

時間外勤務の縮小を図るため、課内での適切な業務配分や業務の効率化を進めます。また、ふるさと納税寄附額の更なる向上を目指し、取り組みを強化します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域資源を活かした都市ブランド化		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	・千葉県、柏市、印西市と連携して水面を含めた手賀沼・手賀川周辺の観光資源を活用するとともに、常磐線・成田線沿線の自治体や大学などと連携して広域で地域資源を活用することで魅力向上を図ります。 ・我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ公園坂通りが、まちのにぎわいを生むシンボルロードとなるよう検討を進めます。 ・五本松公園周辺地域の魅力向上を図るため、公園とふれあいキャンプ場など周辺施設との一体的な活用について検討していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	手賀沼・手賀川の活用		
		J O B A Nアートライン協議会事業の実施		
		成田線沿線活性化事業の推進		
		公園坂通り活性化検討		
		五本松公園周辺地域の魅力向上に関する検討		
		常磐線沿線4市地域活性化事業の実施		
		柏版図柄入りナンバープレートの普及		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	420	0	令和5年度（年度末時点）		0.65	0.00
令和6年度	決算見込額	484	0	令和6年度（年度末時点）		0.55	0.00
令和7年度	当初予算額	431	0	令和7年度	4月1日時点	0.85	0.00
	補正後予算額	331	0				
	決算額	327	0		年度末時点	0.85	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	成田線沿線活性化イベントの実施数	件	目標値		4	4	4	4	4	4
			実績値	6	4	6	4	4		
成果 指標	柏版図柄入りナンバープレート申込数（寄付あり）	件	目標値		4,500	5,500	6,500	7,500	8,500	9,500
			実績値	3,596	4,840	6,145	7,472	8,753		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	県や近隣市等とイベントや会議を実施することにより、自治体の魅力を発信することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、市の魅力を発信するため、県や各構成市町等と協力して事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鉄道の輸送力と利便性向上		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－3 公共交通の利便性向上		
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。		
事務事業の目的 ・概要	・市民が快適に鉄道を利用し、沿線地域が活性化されるよう、沿線自治体などと連携し、重要な公共交通機関であるJR常磐線やJR成田線の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（天王台駅南口市有地の活用）			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 常磐線・成田線の利便性向上			
	成田空港活用協議会への参画			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,029	0	令和5年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和6年度	決算見込額	529	0	令和6年度（年度末時点）		0.65	0.00
令和7年度	当初予算額	857	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	789	0				
	決算額	777	0		年度末時点	0.90	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	JR東日本への要望活動実施数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	鉄道や駅の利便性向上に向けて、JR首都圏本部、千葉支社に要望を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、鉄道や駅の利便性の向上に向けて、要望活動に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和事業の実施		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－3 平和社会の推進		
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、被爆地である広島・長崎へ中学生を派遣します。 ・派遣中学生OB・OGによるリレー講座を継続するほか、若い世代が参加しやすく、平和について考えるきっかけとなるよう工夫しながら、市民とともに平和事業に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	被爆地への中学生派遣、リレー講座、戦後80年事業		
		平和事業推進市民会議の運営		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,368	0	令和5年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和6年度	決算見込額	3,116	0	令和6年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和7年度	当初予算額	3,719	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	3,433	0				
	決算額	3,022	0		年度末時点	0.90	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	平和事業推進市民会議の開催数	回	目標値	5	5	5	5	10	5	5
			実績値	5	5	5	7	9		
活動 指標	広島・長崎派遣中学生リレー講座の実施回数	回	目標値	13	13	13	13	13	13	13
			実績値	6	13	13	13	13		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年記念事業などを通して、平和の尊さを伝える輪が広がっています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代へ受け継ぐよう事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国際交流活動への支援		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－4 国際交流・多文化共生の推進		
	施策の展開内容	在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・我孫子市国際交流協会をはじめとする関係団体などと連携して、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会の提供や情報発信に取り組みます。 ・多言語による行政情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。			
関連する市の計画等	第三次国際化推進基本方針			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	在住外国人の支援			
	国際交流・国際理解の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,375	0	令和5年度（年度末時点）	0.80 0.00
令和6年度	決算見込額	2,397	0	令和6年度（年度末時点）	0.45 0.00
令和7年度	当初予算額	2,444	0	令和7年度 4月1日時点	0.85 0.00
	補正後予算額	2,444	0		
	決算額	2,440	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	0.85 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	国際交流イベントの共催数	事業	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	2		
活動 指標	外国人のための日本語教室開催数	回	目標値	70	70	70	70	70	70	70
			実績値	70	70	70	70	70		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	国際交流スピーチ大会や国際交流まつりを我孫子市国際交流協会と協力して開催し、在住外国人と市民との交流の場を設けることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、多文化共生社会の実現のため我孫子市国際交流協会と協力し事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略の策定と進行管理		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要		・総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進するため、PDCAサイクルに基づき計画の進捗状況を確認し、継続的な見直しを行っていきます。 ・計画年度の終了に合わせ、市民ニーズやこれまでの計画の進捗状況による評価などに基づき、次期計画の策定を行います。		
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第四次総合計画の進行管理			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理と有識者による評価			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	254	0	令和5年度（年度末時点）		1.05	0.10
令和6年度	決算見込額	1,800	0	令和6年度（年度末時点）		0.85	0.00
令和7年度	当初予算額	81	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	449	0				
	決算額	449	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議の実施回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	5	4	5	4		
成果 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議で「順調」「ほぼ順調」と評価された施策の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	77	40	85	75	92		
成果 指標	全事務事業の「総合的な評価」が「順調」「ほぼ順調」となった割合	%	目標値		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
			実績値	－	98.4	99.5	98.4	98.4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	有識者会議は分科会を4回開催し、全施策の評価を実施しました。新たな指標による評価を行ったことにより、実効性を高めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	前期基本計画の施策の進行管理については、有識者による評価を全庁に共有し、施策の推進に繋げていきます。また、令和10年度からの総合計画後期基本計画に向けて令和8年度及び令和9年度において、市民アンケートの実施・前期基本計画の総括・後期基本計画の草案・庁内策定委員会での確認・総合計画審議会での審議を実施し、策定作業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政改革・業務改善の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の視点を取り入れた事業自体の見直し、BPRの手法を活用した業務の効率化、PPP／PFIなどの官民連携手法を通じた民間の創意工夫の取入れなどを進め、行政改革を推進します。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（成果運動型民間委託契約方式（PFS）の検証、民間提案の対応ガイドラインの推進）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	行政改革推進プランの推進		
	行政事業点検		
	地方分権		
	民間提案の庁内総合調整		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	94	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	0.00
令和6年度	決算見込額	184	0	令和6年度（年度末時点）		1.60	0.00
令和7年度	当初予算額	108	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	行政改革推進委員会による行政改革推進推進プランの進行管理実施回数	回	目標値	2	1	1	2	1	1	2
			実績値	2	1	1	2	1		
活動 指標	民間提案制度策定進捗率 ※方針転換によりR7から指標を廃止	%	目標値	50	100	100	100	-	-	-
			実績値		75	90	-	-	-	-
成果 指標	民間提案制度による提案採用件数 ※方針転換によりR7から指標を廃止	件	目標値			1	0	-	-	-
			実績値			0	0	-	-	-
活動 指標	行政事業点検実施回数 ※R7から指標を追加	回	目標値	-	-	-	-	1	1	1
			実績値	0	0	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	行政改革推進プランの進行管理については前期アクションプランと連続性をもった後期プランを行政改革推進委員会に確認した上で策定し、全庁に周知し取組を推進しました。行政事業点検では、後期プランから改革項目として位置付けた「窓口開庁時間」について集中審議し、取組の加速化を図りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	行政改革推進プランについては、後期アクションプランに基づき、庁内向けに策定したガイドラインの活用推進やP F Sの検討含め、引き続き行政改革を推進していきます。行政事業点検については、適宜実施し、取組の加速化等を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	庁内総合調整と行政の見える化		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市が行う政策や事業について、定期的に内容や行政評価の結果を市民にわかりやすく伝えます。 ・複数の部門が関わる事業について、効率的・効果的に実施できるよう、方法や役割などについての調整を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	施政方針・市政一般報告等の作成			
	市議会答弁検討会の運営及び答弁書の調整、答弁内容の進行管理			
	庁議の調整及び運営			
	行政評価結果の公表			
	政策的事業の実施に関する調整			
	部門横断事業に関する調整			
	活力ある地域づくり推進会議の運営			
	子ども議会			
	湖北台地区公共施設整備（第2期整備）の検討			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）		1.90	0.10
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）		2.05	0.10
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	1.50	0.10
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.50	0.10
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	答弁検討会における調整率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	施政方針・市政一般報告の調整率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	施政方針・市政一般報告、答弁検討会、行政評価などの定例業務について、実施目的の達成を念頭に滞りなく実施することができました。また、庁内の横断的な調整を適宜行い、各施策を推進することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	業務の改善を図りながら、現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	広域行政の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	近隣や共通課題を有する自治体、民間事業者、大学などと連携し、スケールメリットやそれぞれの強みを活かした行政運営の推進を図ります。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（市の施策への学生参加の推進、企業等との連携）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	近隣市等とのまちづくり連絡協議会の運営事業		
	大学・企業等との連携事業		
	東葛中部地区総合開発事務組合の運営		
	東葛広域行政連絡協議会による連携事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	114,804	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.30
令和6年度	決算見込額	121,597	0	令和6年度（年度末時点）	0.50 0.40
令和7年度	当初予算額	116,373	0	令和7年度	4月1日時点 0.65 0.40
	補正後予算額	116,695	0		
	決算額	116,689	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 0.65 0.40

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	相互利用している公共施設の数	件	目標値	10	10	10	11	11	11	11
			実績値	10	11	13	11	11		
活動 指標	協定を結んでいる大学・企業及び新たな連携を希望する大学・企業との調整会議実施回数	回	目標値	9	12	13	13	14	14	15
			実績値	12	17	14	20	17		
成果 指標	企業と締結している協定書に記載されている項目の実施率（実施項目／記載項目）	%	目標値	—	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
			実績値	62.0	47.0	64.5	61.1	62.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	他市町との公共施設の相互利用や、ウイングホール柏斎場の運営等、広域的な行政間の取り組み及び、企業・大学との連携を行うことにより、市だけでは解決できない事業や、市民サービスの向上といった事項に取り組むことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	必要に応じて業務改善を行いながら、新たな連携の検討も含めて、推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ふるさと納税の推進		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報を発信します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	ふるさと納税		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	ふるさと納税業務一括代行委託 R5～R7年度 寄付金額の8%に消費税・地方消費税を加えた額及び返礼品（送料を含む）代金相当額			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	15,272	0	令和5年度（年度末時点）		0	0
令和6年度	決算見込額	25,732	0	令和6年度（年度末時点）		0.95	0.00
令和7年度	当初予算額	29,571	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	43,168	0		年度末時点	1.00	0.00
	決算額	38,531	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	ふるさと納税寄附額	千円	目標値	-	-	-	-	65,000	75,000	85,000
			実績値	-	-	32,008	55,358	74,693		
成果 指標	返礼品提供事業者数	事業者	目標値	-	-	-	-	72	76	80
			実績値	-	-	46	68	84		
活動 指標	市内事業者への新規訪問件数	件	目標値	-	-	-	-	5	5	5
			実績値	-	-	-	-	26		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	現地決済型ふるさと納税の拡充により、寄附額を増加させることができました。また、より戦略的に寄附額を集めるため、新規事業者への訪問やプロポーザルによる中間委託事業者の変更などを行い、事業の活性化を図りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	返礼品提供に協力する事業者と寄附額増加を目指すと共に、寄附者に対して我孫子市をプロモーションする取り組みを進めます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : デジタル戦略課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■LINEを活用した行政手続きのオンライン申請システムを構築し、市民が行政手続きをオンラインで簡単に行えるようにするとともに電子決済によるキャッシュレス化を推進します。これにより、市民サービスの利便性の向上と行政事務の効率化を図ります。

■生成AI等のデジタル技術の活用により、行政事務を効率化し、職員にその利用方法を周知することで、更なる向上を目指します。また、マイナンバーカードの普及促進と利活用を推進します。

■住民記録や税業務などの基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ移行することで、システムの安定性とセキュリティの向上を図ります。

■全庁的・横断的なデジタル推進体制を構築することにより、市のデジタル化を推進します。全職員がデジタル化に対する共通理解を持ち、必要なデジタルスキルを身につけるための取り組みを強化し、デジタル人材の育成を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を推進し、生成AI活用による行政事務の効率化を更に推進しました。基幹システムの標準準拠システムへの移行を完了し、情報システムの基盤を整備しました。人材育成基本方針にデジタル人材の育成・確保を盛り込み、組織のデジタル化推進体制を明確化しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

全ての個別事務事業を問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の推進	
	担当部署名	企画総務部 デジタル戦略課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。 ・マイナンバー制度の更なる普及、DXの推進など、デジタル時代に対応した地域社会の実現を目指します。 ・組織としてデジタル・ガバメントを推進するためにデジタル人材の確保・育成に取り組みます。		
関連する市の計画等	デジタル化基本方針、デジタル戦略、第5次行政改革推進プラン（行政手続きのオンライン化（フロントヤード改革）、内部事務のデジタル化（バックヤード改革）、マイナンバーカードの利活用の検討、窓口DXの検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	スマート申請の推進	
		生成AIの活用による業務効率化の推進□	
		デジタル技術による業務の改善・効率化	
		マイナンバーカードの普及促進・利活用	
		デジタル推進体制の構築とデジタル人材の育成	
		R P Aの活用による業務効率化の推進	
		窓口のデジタル化の検討	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	スマート申請サービス使用 R6～R8年度 45,346千円、生成AIシステム使用 R7年度 2,200千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	42,088	0	令和5年度（年度末時点）		0.63	0.20
令和6年度	決算見込額	21,668	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.00
令和7年度	当初予算額	25,439	0	令和7年度	4月1日時点	3.70	0.50
	補正後予算額	23,573	0				
	決算額	23,502	0		年度末時点	3.70	0.50
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	オンライン申請が可能な手続きの数	個	目標値		100	200	200	200	230	230
			実績値	42	72	106	173	237		
活動 指標	R P Aシナリオ数	個	目標値		10	30	-	-	-	-
			実績値	4	5	0	0	0		
成果 指標	オンライン申請が可能な手続きの平均オンライン申請率	%	目標値		5	10	40	45	50	55
			実績値		30.4	40.0	61.1	64.3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	電子事業の推進について、全ての個別事務事業を問題なく完了しました。スマート申請については、利用者からも好評であったため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	デジタル化は、今後の持続可能な行財政運営に有効な手段と認識しており、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の維持・運営		
	担当部署名	企画総務部 デジタル戦略課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率のかつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市情報セキュリティポリシー			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		庁内インフラの運用・セキュリティ対策の実施		
		電算システムの運用		
	指	標準化移行業務		
		水道局・教育委員会庁内LAN無線化構築		
		電算室空調工事		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	第2期基幹システム運用委託 R3～R8年度 1,603,164千円、庁内インフラ・セキュリティ業務委託 R3～R13年度 1,808,962千円、ちば電子申請システムサービス利用 R3～R7年度 1,955千円、ちば施設予約システムサービス利用 R3～R7年度 17,695千円、グループウェアシステム使用 R4～R8年度 14,987千円、アンケート分析システム使用 R5～R8年度 17,468千円、複合機賃貸借 R6～R13年度 88,698千円、標準化関連システム導入・運用保守業務委託 R7～R12年度 1,896,560千円、ちば電子調達システム使用 R7～R13年度 28,711千円、ガバメントクラウドネットワーク構築業務委託 R7年度 28,704千円、複合機賃貸借（令和7年度契約分） R8～R13年度 7,293千円、ちば電子申請システムサービス使用 R7～R12年度 6,510千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	502,841	0	令和5年度（年度末時点）		3.70	1.80
令和6年度	決算見込額	679,058	0	令和6年度（年度末時点）		4.16	2.40
令和7年度	当初予算額	1,120,815	10,186	令和7年度	4月1日時点	4.16	2.40
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	0.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	基幹システムの重大障害発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	1	5	5	1		
活動 指標	セキュリティ対策の実施数（種類）	件	目標値	11	11	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11	11		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	電子行政の維持・推進について、全ての個別事務事業を問題なく完了しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	デジタル化は、今後の持続可能な行財政運営に有効な手段と認識しており、引き続き推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 秘書広報課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■行政情報の発信…広報あびこやホームページ、LINE、メール配信、Facebook、X（旧Twitter）、報道機関への情報提供、記者会見等を行い、市の情報を発信します。また、広報あびこについて、ペーパーレス化の進展や在住外国人の急増などの状況を踏まえ、多言語対応の電子配信サービスの導入や配布方法の見直しを含めた検討を行います。

■市民ニーズの把握と反映…市政の手紙やメール、市政ふれあい懇談会等の広聴活動の充実を図るとともに、制度開始から10年を経過するeモニターアンケートを休止し、制度を見直します。また、パブリックコメントを引き続き推進し、施策策定過程における市民の意見反映を進めます。

■シティプロモーションの推進…移住情報リーフレットやWEB広告によるPR、フィルムコミッション等を通じて、市の魅力を積極的に市外に発信し、転入者の獲得と交流人口の増加を目指します。

■総合教育会議の運営…「我孫子市教育大綱」を踏まえ、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、教育委員会と連携し、総合教育会議を運営します。

■秘書事務…令和7年7月1日に迎える市制施行55周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市政功労者表彰を行うほか、様々な記念事業を実施します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

行政情報の発信では、多言語対応の電子配信サービスアプリを導入しましたが、より安価で、かつより多くの多言語に対応できるアプリが開発されたことから、令和8年4月から切り替えを行います。

秘書事務では、令和7年7月1日に市制施行55周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市民文化スポーツ栄誉章の贈呈や市政功労者表彰を行いました。

また、中央学院大学の学生から提案を受けたスカイランタンイベントを、市制施行55周年フィナーレイベント『手賀沼ランタンXmasフェスティバル』として、12月に中央学院大学との共催で開催し、多くの人の心に残るイベントを実施することができました。

その他の事業については、概ね予定どおり執行することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

市政ふれあい懇談会については、今後も開催地区の統合や年間開催回数について検討を続けていきます。

その他の事業については概ね順調に推進できていることから、今後も現状どおり取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合教育会議運営事務	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	教育に関する予算の編成や執行、条例提案などの重要な権限を有する市長と教育委員会が地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、地域に根差した学校教育環境の充実を図ります。		
関連する市の計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条～第1条の4、我孫子市総合教育会議に関する規定、我孫子市教育大綱（令和5年度～令和8年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	総合教育会議の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 0.30 0.00 年度末時点 0.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	総合教育会議の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	3	3		
成果 指標	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	総合教育会議において、市長と教育委員会とが様々な意見交換を通じて、地域の教育の課題やあるべき姿を共有することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市教育大綱に基づいて教育行政を推進するためには、市長と教育委員会との連携強化や情報共有が必要不可欠であり、その役割を担う総合教育会議を引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政情報の発信		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり		
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市民と市が情報を共有できるよう、広報あびこや市ホームページなどの充実を図ります。 ・市政や市民のくらしに関する情報を正確にわかりやすく伝えるため、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどのさまざまな媒体を積極的に活用し、情報を提供します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan）	指	広報電子配信サービス		
		ホームページの管理・充実		
		LINEによる情報発信		
		広報の編集・発行		
		報道機関への情報提供		
指：指定事務事業				
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	広報紙「広報あびこ等」作成業務委託（うち広報あびこ分） R5～7年度 119,160千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	47,597	0	令和5年度（年度末時点）		4.30	0.80
令和6年度	決算見込額	48,888	0	令和6年度（年度末時点）		4.65	0.80
令和7年度	当初予算額	46,429	0	令和7年度	4月1日時点	4.40	0.80
	補正後予算額	46,155	0				
	決算額	44,772	0		年度末時点	4.40	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	「広報あびこ」年間発行件数	件	目標値	24	24	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24		
活動 指標	報道機関への情報提供件数	件	目標値	85	85	85	85	85	85	85
			実績値	172	165	208	195	193		
活動 指標	LINE友だち数	件	目標値	事業未実施	10,000	23,000	19,800	21,600	55,894	61,894
			実績値	事業未実施	9,061	18,228	36,095	49,894		
成果 指標	トップページアクセス件数 ※実績値は新型コロナの影響を受けたもの	件	目標値	設定なし	1,024,000	1,059,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
			実績値	3,767,722	2,932,737	3,332,746	3,322,005	3,390,175		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	広報あびこ及びホームページ、各SNSを活用して適切に情報提供を行うことができました。広報あびこの電子配信サービスを開始し、デジタル化及び多言語化を推進できたことや、市制施行55周年に合わせた広報の強化など新たな取組も実施できたこと、さらに各指標が目標値を達成していることから、順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和7年度に実施した広報あびこの宅配意向調査の結果を基に宅配件数の適正化を図り、ペーパーレス化を推進するほか、広報の多言語対応を拡大するため、新たなアプリを導入します。またSNS運用に関するガイドラインを整備するとともに庁内への情報提供・協力依頼を行い、適切かつ効果的な運用を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民ニーズの把握と反映	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・多様化する市民ニーズを的確に把握して市政に反映できるよう、市政への手紙・メール、市政ふれあい懇談会、パブリックコメントなど、広く市民の意見や要望を聴く機会を充実を図ります。また、一時休止となっているeモニターアンケートについては、再開に向けて事業内容の見直しを行います。 ・会議の開催の工夫や公募市民の登用拡大などにより、政策形成過程全般への市民参加を進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		パブリックコメント	
		eモニター制度	
		市政ふれあい懇談会	
		市政への手紙・メール	
		庁内調整を要する要望・陳情	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	124	0	令和5年度（年度末時点）		1.00	0.70
令和6年度	決算見込額	175	0	令和6年度（年度末時点）		1.00	0.80
令和7年度	当初予算額	50	0	令和7年度	4月1日時点	1.70	0.00
	補正後予算額	50	0				
	決算額	30	0		年度末時点	1.70	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	パブリックコメント手続き（意見公募1件当たりの提出意見数）	件	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	4	2	3	3	4		
活動 指標	eモニター制度（モニター登録者数）	人	目標値	300	400	400	400	400	400	400
			実績値	368	397	404	440	0		
活動 指標	市政ふれあい懇談会（参加人数）	人	目標値	390	200	200	200	200	200	200
			実績値	172	162	149	212	130		
活動 指標	市政への手紙・メール（受付件数）	件	目標値	440	500	500	500	500	500	500
			実績値	461	325	285	320	279		
活動 指標	庁内調整を要する要望・陳情（受付人数）	件	目標値	55	70	70	70	70	70	70
			実績値	46	47	46	38	22		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市政ふれあい懇談会は、第2回から出席人数が少ない地区を統合し、延べ10か所から8か所としました。参加人数は減少したものの順調に事業を進めることができました。このほか、パブリックコメント手続き、市政への手紙・メール、陳情・要望については、概ね順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市政ふれあい懇談会については、今後も開催地区の統合や年間開催回数について検討を続けていきます。また、eモニターアンケートの再開又は廃止について、引き続き検討を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	シティプロモーションの推進		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	戦略的なシティプロモーション		
	施策の展開内容	市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛を醸成するため、都心への交通利便性や子育てのしやすさ、手賀沼に代表される豊かな自然、白樺派の文人たちが集った地ならではの歴史文化資源など、さまざまな魅力の発信を戦略的に進めます。 ・子育て世代や若者が「住みたい」「住み続けたい」、親世代が「住むことをすすめてい」と思えるよう、情報の受け取り方や興味、関心に合わせ、あらゆる媒体を活用して市の魅力を効果的に発信していきます。 ・市民、団体、大学、事業者などと連携して市の魅力の創出・発信に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	シティプロモーション（不動産ポータルサイトへの広告掲載、移住PR冊子制作）		
		シティプロモーションの推進		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	15,355	0	令和5年度（年度末時点）		2.30	0.00
令和6年度	決算見込額	15,805	0	令和6年度（年度末時点）		2.35	0.00
令和7年度	当初予算額	17,595	0	令和7年度	4月1日時点	2.20	0.00
	補正後予算額	18,223	0				
	決算額	18,200	0		年度末時点	2.20	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	シティプロモーション事業の取組件数	件	目標値	設定なし	155	155	160	160	160	160
			実績値	232	508	600	640	374		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	事業の取組件数は減少したものの、転入者のさらなる増加を図るため、市内東部地区に特化した「住み替えあびこナビEAST」を発行するなど、新たな取り組みを実施したことから順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、SUUMOへの広告掲載及びシティリビング東京（WEB版含む）での情報発信を実施します。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：人事課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

多様な採用方法や募集方法など柔軟な採用を検討し、優れた人材の確保に努めます。
人事評価制度を中心とする人事管理、職員派遣や研修、職場環境の整備を柱に総合的・効果的に人材育成を進めます。
複雑・多様化する行政課題に対応するため、求められる職員像を明確化するとともに、人材育成方針を改訂します。
公務能率の向上を図るため、職員のワーク・ライフ・バランスの実現や総労働時間の短縮など働き方改革を推進し、柔軟な働き方に対応する多様な勤務体制を検討するとともに、在宅勤務などテレワークの継続・活用を図ります。

2. 課の目標への取組結果

即戦力となる人材の確保に向けて、職員採用試験に有資格（免許）者・経験者枠及び公務員経験者枠を新設しました。
また、社会情勢等の変化により複雑高度化する行政需要に対応可能な人材育成を推進するため、人材育成・確保基本方針として改訂しました。
さらに、職員の時間外勤務の常態化を解消することで、経費の削減や職員の働き方改革の推進等を図るため、令和8年1月5日より市役所本庁舎・分館・東別館、各行政サービスセンターの窓口において、窓口開庁時間短縮の試行運用を開始しました。
上記以外の項目については、課の目標で示したとおり、取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

土木職等の技術職や社会福祉士等の専門職については、応募がない職種もあり、必要な人員が確保できていない状況にあることから、試験の一部を免除することで受験しやすくするための有資格（免許）者・経験者枠、公務員経験者枠を新設し、新設した枠で人材を確保することが出来ましたが、依然として必要な人員に達していない職種があるため、新設した枠を広く認知してもらうために周知方法及び技師等の専門職の待遇の見直し等を行っていく必要があります。
また、人事評価制度の活用に加え、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修を実施するとともに、国、千葉県等への研修派遣を行い、職員の人材育成に努めました。
さらに、男性職員の育児休業の取得促進に向けた取組を推進するなど、職員のワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努め、やむを得ず長時間労働を行った職員に対しては、産業医による面接指導を実施し、職員の健康維持に努めました。
窓口開庁時間短縮の試行運用の実施に向けて、市民をはじめサービスを利用する方々への周知の徹底に努めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き公務能率の向上、職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、時間外勤務の削減をはじめとした労働時間の短縮を推進するとともに、改訂した人材育成・確保基本方針に基づき、複雑高度化する行政需要に対応可能な人材を育成していきます。
また、窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人材育成の推進	
	担当部署名	企画総務部 人事課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めていきます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（窓口開庁時間、人材育成による職員の資質向上・組織ビジョンの策定、人材の確保、働き方改革の推進）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	職員研修		
	管理職登用試験制度の実施		
	人事評価の実施		
	人材育成方針の改訂		
	市役所の窓口開庁時間の短縮		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,495	0	令和5年度（年度末時点）		1.70	0.00
令和6年度	決算見込額	3,150	0	令和6年度（年度末時点）		1.70	0.00
令和7年度	当初予算額	4,052	0	令和7年度	4月1日時点	1.70	0.00
	補正後予算額	3,229	0				
	決算額	2,827	0		年度末時点	1.70	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	職員研修の年間延べ受講者数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,596	2,468	2,266	2,222	2,375		
活動 指標	人事評価における苦情相談窓口への相談件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	1	0	0	0		
活動 指標	管理職登用試験受験者数	人	目標値	30	30	30	30	30	30	30
			実績値	23	17	22	28	19		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ減少しましたが、職員研修は研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度に比べ増加したことを踏まえ、ほぼ順調と判断しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名： 行政管理課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■事務処理誤りの発生を防止するため、個別事例における防止策を検討・実施し、リスクマネジメントを推進します。

■社会情勢等の変化に柔軟に対応し、効率的・効果的な組織体制を構築していきます。

■行政運営の基本情報となるデータ集計を行うため、基幹統計調査を適確に実施します。

■情報公開の徹底を図り、市民との情報の共有化を進めるとともに、個人情報の適切な保護に努めます。その方策として、ファイリングシステムによる文書管理を徹底します。

■請負金額が200万円を超える工事に対して、施工・出来高・中間検査を実施するとともに、工事成績評価を実施し、工事請負者の施工技術の水準の向上を図ります。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

組織改編の実施や、事務処理誤りの発生防止対策など、順調に事業を執行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

社会情勢等の変化に柔軟に対応していくため、必要に応じた組織体制の見直しを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	情報公開の推進	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の知る権利を確保し、市民と市との情報の共有化を図るため、市民が必要とする市政情報を公開していきます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（文書管理のデジタル化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	行政情報資料室の管理・運営		
	情報公開に係る総合調整事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	289	0	令和5年度（年度末時点）	1.86 0.00
令和6年度	決算見込額	303	0	令和6年度（年度末時点）	1.86 0.00
令和7年度	当初予算額	148	0	令和7年度 4月1日時点	1.90 0.00
	補正後予算額	148	0		
	決算額	109	0	令和7年度 年度末時点	1.90 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	審査請求に対する認容裁決の件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	予定どおり事業を実施し、審査請求もなかったことから、順調と判断しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	情報公開制度による市政情報の市民への提供は、市民と市が協働でまちづくりを進める上で不可欠であるため、今後も引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	統計データ整備	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	まちづくりの基礎資料となる我孫子市の人口・産業・教育・文化などの統計データについて市民との共有化を図るため、国勢調査などの統計調査を実施するとともに、統計書を作成します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	統計書作成		
	基幹統計調査		
	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査		
	統計調査員確保対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,975	0	令和5年度（年度末時点）	0.50 0.62
令和6年度	決算見込額	3,492	0	令和6年度（年度末時点）	1.10 0.32
令和7年度	当初予算額	69,308	0	令和7年度 4月1日時点	1.40 1.60
	補正後予算額	69,754	0		
	決算額	69,146	0	令和7年度 年度末時点	1.80 1.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	統計書作成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	基幹統計調査数	調査	目標値	4	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
活動 指標	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査回数	回	目標値	12	12	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12		
活動 指標	統計調査員確保対策事業登録者数	名	目標値	150	130	130	130	130	130	130
			実績値	147	98	91	73	114		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	予定のとおり実施しました。引き続き調査員の確保に努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法定受託業務のため現状どおり推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	機能的な組織運営	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、柔軟で機能的な組織運営を進めます。		
関連する市の計画等	定員管理計画、第5次行政改革推進プラン（組織の見直し、適正な定員管理）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	組織の見直し		
	定員管理事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.73 0.10
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	1.05 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	1.15 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	1.25 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	常勤職員数	人	目標値	857	857	868	906	912	925	920
			実績値	859	862	876	889	904		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	予定どおり事業を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会情勢等の変化に柔軟に対応するためには、的確な執行体制を確保することが必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	リスクマネジメントの推進		
	担当部署名	企画総務部 行政管理課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市民の利益を損なうことのないよう、業務上のリスクを識別・評価し対応策を講じるリスクマネジメントを推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	リスクマネジメントの推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	160	0	令和5年度（年度末時点）		0.63	0.20
令和6年度	決算見込額	160	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	1.05	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.45	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	リスク評価を実施した全庁共通の業務数	件	目標値	3	5	10	10	10	10	10
			実績値	1	1	1	1	1		
活動 指標	準公金取扱要領順守状況実地調査数（年間）	回	目標値				1	1	1	1
			実績値				1	1		
活動 指標	リスクマネジメント研修実施回数	回	目標値				1	1	1	1
			実績値				1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	リスク一覧における実例を更新し、全庁でリスクについて共有しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事務処理誤り防止に向け、組織的に対応していくため、今後も現状どおり推進していく。